

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

1. 地域資源の特性

(1) 歴史・文化的資源*の特性

○足袋蔵

行田が足袋産業で繁栄していたことを象徴する建築物で、市内に約90棟現存しています。明治、大正、昭和の3つの年代にわたり建設され、大きさや意匠、構造、構成材も様々に蔵ごとの個性が感じられ、本市の歴史・文化的資源の重要な要素となっています。



▲忠次郎蔵

○歴史的建築物

国登録有形文化財に登録されている武蔵野銀行行田支店や足袋産業に関連する旧商店など、本市の中心部には行田の歴史が感じられる建築物が数多く現存しています。



▲武蔵野銀行行田支店

○忍城址

映画「のぼうの城」の舞台にもなり、本市のランドマーク*的存在である忍城址には、郷土博物館が併設され、歴史・文化の学習施設、観光拠点として各地から多くの人々が訪れています。

また、周辺には、かつては城下町であったことをしのばせる当時の町割りや通りの形状が、現在も色濃く残っています。



▲忍城址

○埼玉古墳群

国指定史跡9基の大型古墳が集積する埼玉古墳群は、県名発祥の地としての歴史をうかがい知ることが出来る場所であり、周辺を含めてさきたま古墳公園として整備されています。

また、大型古墳の一つ一つが、平坦な田園風景のアクセント*となっています。



▲稲荷山古墳

○石田堤

石田三成らが忍城を水攻めにする際に築いた総延長約28kmにわたる堤であり、当時の様子をしのばせる貴重な遺構となっています。

忍川に沿って現存する約282mの堤は史跡指定され、地域の人々によって除草などの維持活動が行われています。



▲石田堤

○史跡・旧跡

古代より人々が生活を営み、発展してきた本市では、様々な時代の史跡や旧跡が市内全域に点在しています。市内の各地域に存在する史跡や旧跡からは、歴史や当時の人々の営み、文化的な特色をうかがい知ることができます。



▲南河原石塔婆

○寺社

城下町として発展した本市には、忍城を護る拠点としての役割も兼ねた寺院が要所に配置されており、成田家や阿部家、松平家など大名家に縁のある寺院が数多く存在します。

神社は旧村社などが市内各地域に数多く点在しています。



▲真観寺仁王門

○祭り・民俗行事

市民が主体となって運営する「さきたま火祭り」、本市の中心部を山車や神輿が練り歩く「行田浮き城まつり」、市内各所で伝承されてきた獅子舞やおはやしなどの伝統芸能、各町内で行われる「天王様の祭り」など、一年を通して市内各地で祭りや民俗行事が行われています。



▲行田浮き城まつり



歴史・文化的資源の特性

- 古代から現代までのあらゆる時代の歴史・文化的資源が、市全域に分布しています。
- 埼玉古墳群をはじめとした、古代の様相をうかがい知ることが出来る文化的資源は、観光資源であると同時に、自然景観の一要素となっています。
- 忍城址とその周辺には、中世の城下町の町割りや寺社などの歴史的資源※が随所に残っており、市を代表する景観資源となっています。
- 秩父鉄道行田市駅周辺には、近代における足袋蔵などの歴史的資源が集積しており、行田らしいまち並みを形成する重要な要素となっています。
- 長年にわたる人々の生活の中から多様な文化や祭りが生まれ、今なお息づき、継承されています。

(2) 自然資源の特性

○田園

農村集落地※には、豊かで美しい田園風景が広がっており、一年を通して田園風景の移ろいが楽しめます。

広々とした田園からは、周辺の山々が望め、自然の豊かさを体感できる場となっています。



▲田園風景

○利根川

坂東太郎の異名をもつ利根川は、水量が豊かで、緩やかな流れであることから、地域の水辺として親しまれ、水上スポーツも楽しめる水辺空間のほか、堤防部を利用したサイクリングコースが整備され、多くの人に親しまれています。

また、県内や東京都へ上水道を供給する利根大堰は、人々の生活に重要な役割を担っています。



▲利根川と利根大堰

○河川・水路

市内を流れる河川や水路は、川沿いが緑道として整備され、桜並木が連なっているなど、地域の身近な親水空間が形成されています。

中心部の史跡や観光資源の多くは、忍川やさきたま調節池（旧忍川）のほとりに存在しており、重要な資源となっています。



▲忍川

○古代蓮の里

行田蓮をはじめ、42種類12万株の花蓮が植栽されており、蓮だけでなく多様な樹木や植物と触れ合える場として市内外の人々を惹きつけています。

公園内の展望タワーからは、眼下に広がる田園風景の他、都心方面や富士山をはじめとする多くの山々など関東一円が眺望できます。



▲蓮と展望タワー

○水城公園

本市の中心部に位置し、四季折々の草花が楽しめる自然豊かな公園であり、沼地を巧みに利用した忍城の堀を整備して造られた憩いの場として多くの市民に親しまれています。



▲水城公園

○屋敷林※

農村集落地の住宅には、防風や防砂を目的とした屋敷林があり、古くからの農家や農村の様子がうかがえます。



▲屋敷林

自然資源の特性

- 季節ごとに移ろう田園風景は、本市の象徴的な自然景観となっています。
- 高低差の少ない平らな地形になっており、周辺を連なる山々が望めます。
- 郊外に広がる田園風景や田園から望める山々は、特徴的な景観資源となっています。
- 市内を巡る河川や水路は、地域の身近な水辺空間となっています。
- 古代蓮の里や水城公園は、にぎわいの拠点であるとともに、四季折々の変化が楽しめる場となっています。
- 農村集落地に見られる屋敷林は、防災的な役割とともに、農村集落の特徴的なまち並みを形成する要素となっています。

(3) 生活・産業資源の特性

○住宅地

中心市街地では、古くからの住宅と新たな住宅が共存した住宅地が、西部地域では土地区画整理※や大規模な宅地開発により、新興住宅地※が形成されています。



▲新興住宅地

○商店

中心市街地では、古くから商店街が形成されており、地域の生活を支える場所となっています。

また、近年足袋蔵や歴史的建築物を活用した商店が増加しています。



▲新町通り商店街

○公共公益施設

市役所や埼玉県行田地方庁舎、産業文化会館、商工センター、コミュニティセンターなどの公共公益施設が中心市街地に集積しています。



▲行田市役所

○工業団地

富士見工業団地、行田みなみ産業団地、長野工業団地が整備されており、自動車産業系の工場や物流系施設が多く立地しています。



▲行田みなみ産業団地

○道路

国道125号や同行田バイパス、国道17号熊谷バイパスなどの骨格となる幹線道路が整備されていることから、高速自動車道へのアクセスが比較的良好です。



▲国道125号

○鉄道

JR 行田駅及び秩父鉄道持田駅、行田市駅、東行田駅、武州荒木駅の各駅は、市の玄関口や地域の交通拠点として、通勤通学のほか、観光客を迎える場となっており、各駅の周辺は静かで落ち着いた空間が形成されています。



▲ J R 行田駅

生活・産業資源の特性

- 中心市街地では、新旧の住宅が共存する住宅地が形成され、西部地域では、宅地開発による新興住宅地が形成されています。
- 中心市街地では、地域の生活を支える商店街が形成され、また、近年では歴史的建築物を活用した商店が増加しています。
- 本市の骨格となる主要幹線道路が整備されており、高速自動車道へのアクセスも比較的良好となっています。
- 各鉄道駅は地域の拠点となる要素であり、特に秩父鉄道行田市駅や JR 行田駅は、本市の顔としてにぎわいの拠点となる重要な要素となっています。

2. これまでの取組みの整理

(1) これまでの取組み・事業

プロジェクト名 (実施年度)	プロジェクト概要	実施場所	実施主体	にぎわいづくりやまち並み づくりに関する効果
川のまるごと再生プロジェクト (H25年度～)	市の史跡や観光拠点の多くは、忍川やさきたま調節池に面して存在しています。これらの河川に遊歩道(サイクリングロード)や親水護岸などを整備し、点在する観光拠点をつなぐことにより、新たな行田の楽しみ方を創出し、まちの賑わいにつなげていきます。	忍川・さきたま調節池(旧忍川)・酒巻導水路	埼玉県 行田市	・水辺の遊歩道整備により、観光資源のつながりが図られます。 ・観光レンタサイクル*を充実させ、観光客の利便性が向上します。 ・自転車や徒歩による観光を推進し、駐車場の少ないまちなかへの誘客が図られます。 ・水辺の環境が整備され、川沿いの景観が改善されます。 ・水辺の維持管理体制を確立し、きれいな水辺空間が確保できます。
ふるさとづくり事業※ (H25年度～)	行田市駅周辺の歴史的建築物が集積する行田地区及びその周辺で、行田ならではのまち並み景観の創出や歴史的建築物などの改修などを行う市民や市内の活動団体などに対し、整備費用の一部を補助します。	行田地区及び周辺地域	行田市	・歴史的建築物の保存・活用を図り、にぎわいが創出されます。 ・行田らしいまち並みの形成が促進されます。 ・新たな観光スポットとして観光客の増加が図られます。
住まいる行田プロジェクト (H25年度～)	「子育て世帯の負担軽減」「地域活性化」「賑わい創出」のため、官民協働で子育て世帯の住宅取得を支援します。	市内	行田市 民間事業者	・子育て世帯の定住人口の増加につながります。 ・市内建設事業者の利用を促進し、地域経済の活性化につながります。
子育て世帯定住促進奨励金 (H25年度～)	本市に定住する子育て世帯の住宅取得に関し、奨励金を交付します。	市内	行田市	・子育て世帯の定住人口の増加につながります。 ・奨励金の一部を商品券で交付することにより、商店街の活性化につながります。
秩父鉄道新駅設置の検討 (H25年度～)	市民の利便性向上や定住促進を図るため、新駅設置の必要性について検討します。	行田・熊谷市境	行田市 熊谷市 秩父鉄道	・新駅が設置された場合、新規の住宅建設、地域経済の活性化につながります。 ・定住人口の増加につながります。
移住したくなる行田プロモーション事業 (H25年度～)	行田の魅力を感じられるイベントを開催するなど出会いの場を提供し、まちの魅力のPRと結婚後の移住者の増加を図ります。	市内	行田市	・積極的なプロモーションの展開により、行田の魅力の発見につながり、移住者の増加が図られます。

プロジェクト名 (実施年度)	プロジェクト概要	実施場所	実施主体	にぎわいづくりやまち並み づくりに関する効果
行田市企業誘致 条例（企業立地奨 励金） （H25年度～）	行田市に事業所を新設・増設・ 移設をする企業に対して奨励金 を交付することにより、企業の 立地を促進し、雇用の確保、税 収増を図り、人口減少対策、地 域産業の活性化に寄与します。	市内	行田市	- 雇用の創出により、産業振興 が図られます。 - 大型小売店立地による交流人 口の増加が図られます。 - 企業立地の波及効果により、 地域産業の活性化につながり ます。
みずしろフェスタ ～いざ出陣～ （H24年度～）	市の中心部に位置するコミュニ ティセンターみずしろで市民の 活動発表の場を提供すること により、コミュニティセンターみ ずしろを中心としたにぎわいを 創出することを目的とします。	コミュニ ティセン ターみず しろ	みずしろフ ェスタ実行 委員会	活動情報の発信により、活動 の魅力の発見・再認識につな がり、にぎわいの創出ととも に、市民活動の活性化が図ら れます。
ぎょうだ“夢”ま つり （H24年度～）	「食と農と環境フェスタ」とし て多彩なご当地グルメ、行田産 の農産物の販売、省エネ機器の 紹介などを中心に行われます。	古代蓮の 里	ぎょうだ“ 夢”まつり 実行委員会	来場者で会場が賑わうこと、 また省エネ・ご当地グルメ・ 農業の振興につながります。
ぶらっとぎょうだ （H24年度～）	行田市の観光情報、公共施設や 宿泊施設などを案内していま す。また、館内では休憩所を設 け、一部の市内特産品の紹介や 販売をしています。	商工セン ター1階	行田市観光 協会	観光案内などの情報提供によ り行田についてより知っても らい、また行田の物産につい ても周知することで、観光P Rや商工業の振興にもつなが ります。
古代蓮の里イルミ ネーション事業 （H24年度～）	古代蓮の里の冬の魅力をさらに 高めるため、古代蓮の里イルミ ネーションを開催し、広く情報 発信することで観光客のさらな る増加を図り、賑わいを創出す るとともに訪れた人に憩いと安 らぎを与えます。	古代蓮の 里	古代蓮の里 イルミネー ション推進 協議会	- 古代蓮の里の観光客の誘致に 寄与します。 - 縁日などの開催により、イベ ント性が向上します。 - 市内の観光資源の新たな魅力 を創出できます。
森づくり環境再 生事業 （H20年度～）	森づくりを通して豊かな自然を 育み、緑とふれあうことにより、 未来の行田を担う子ども達を育 成します。	行田市総 合公園・ 古代蓮の 里・弁天 門樋ボケ トパーク※	行田市森づ くり環境再 生実行委員 会	- 植樹により緑豊かな環境景観 が形成されます。 - 植樹への参加・体験により、 いのちの大切さを享受できま す。

プロジェクト名 (実施年度)	プロジェクト概要	実施場所	実施主体	にぎわいづくりやまち並み づくりに関する効果
田んぼアート (H20年度～)	「行田のおいしい米」や「観光地・行田」をPRするため、行田が誇る緑豊かな水田を舞台に、色彩が異なる複数の稲で文字や絵柄を描く「田んぼアート米づくり体験事業」を実施します。	古代蓮の里 東側水田	田んぼアート米づくり 体験事業推進協議会	- 参加者、観光客の増加につながります。 - 田んぼアートが描かれた水田周辺の環境の美化や整備が図られます。 - 参加者間の交流を図り、「米づくり」という農業体験を通して、日本人の主食である「米」を身近に感じることができ、農業や環境への理解を深めることができます。
「行田のまちを ゴシゴシみんな でクリーンなま ちづくり」清掃 活動 (H19年度～)	市民が清掃活動を通して地元の公園に愛着を持ち、きれいなまち並みづくりに貢献します。	水城公園・行田市総合公園・さきたま古墳公園	行田のまちを ゴシゴシ 委員会	違法広告物の撤去活動など清掃活動を通して、美化意識と景観の向上が図られます。
ぎょうだ歴史ロ マンの道整備事業 (H19年度～)	市内の古墳群を結ぶ文化財めぐりコースを設定し、コース上に文化財の案内板、説明板、ガイドマップを作成・設置します。	さきたま古墳群・古代蓮の里・忍城址・八幡山古墳など	行田市	- 市内の歴史資産の存在とその価値が広く周知されるとともに、保存・活用が図られます。 - 行田ならではの歴史を活かした特色ある観光ルートが整備され、観光客の増加につながります。
足袋蔵歴史のま ち整備事業 (H19年度～)	中心市街地に残る歴史的建築物のうち、文化財として保存が必要と思われる建物の調査を行います。また、国の登録文化財の登録を進め、それらを徒歩でめぐる見学コースを設定し、案内説明板、ガイドマップなどを設置します。	行田市中心市街地	行田市	- 中心市街地に残る歴史的建築物（近代化遺産）の存在とその歴史的価値が広く周知されるとともに、その保存が図られるようになります。 - 行田ならではの歴史を活かした特色ある観光ルートが整備され、観光客の来訪による中心市街地の活性化が期待されます。
浮き城のまち景 観賞 (H17年度～)	周辺環境と景観上の調和を図り造形意匠上優れた建築物などを表彰することにより、良好な景観創出のための市民意識の醸成を図り、地域の個性を伸ばす景観形成に寄与することを目的とします。	市内	行田市	- 市内外への潜在的な魅力の発信につながります。 - 景観まちづくりへの意識の醸成につながります。 - 景観スポットとして観光客の増加につながります。

プロジェクト名 (実施年度)	プロジェクト概要	実施場所	実施主体	にぎわいづくりやまち並み づくりに関する効果
行田浮き城祭り (H5年度～)	祭り前日は前夜祭として、ステージイベントやフリーマーケットなどが開催され、祭り当日にはだんべ踊りパレードを中心に、神輿や山車が練り歩きます。	国道125号・市街地	行田浮き城まつり実行委員会	・行田市を代表する市民祭としてたくさんの来場者で賑わいます。 ・ステージイベントのパフォーマンスなどで行田の文化を楽しむことができます。
商工祭・忍城時代まつり (S54年度～)	市内商店による物産大バザールや、市内団体の催し物が楽しめる商工祭と戦国武将に扮した武者行列や火縄銃を使った演武などを行います。	市役所、忍城址付近	行田商工会議所	・地域商工業者と来場者のふれあいを深めることができるとともに、本市の魅力の向上に寄与します。



－まとめ－

- ・「ふるさとづくり事業」や「足袋蔵歴史のまち整備事業」など、歴史的建築物の保存・活用やまち並み形成に向けた事業が活発に行われています。
- ・「子育て世帯定住促進奨励金」や「移住したくなる行田プロモーション事業」などは、子育て世帯への支援や本市の魅力をPRすることなどを通じて、若い世代の定住促進や、住みやすく、住みたいまちに向けた取り組みを行っています。
- ・「ふるさとづくり事業」や『行田のまちをゴシゴシみんなでクリーンなまちづくり』清掃活動」などは、地域や市民による主体的な活動の支援を通じて、良好な景観の形成に寄与しています。
- ・「川のまるごと再生プロジェクト」や「森づくり環境再生事業」などにより、豊かな自然や水辺空間の保全や創出が図られています。
- ・「田んぼアート」や、「行田浮き城祭り」など、地域と来訪者との交流機会の創出に向けた取り組みを行っています。

(2) 市民主体のまちづくり活動

① まちづくりに関連する地域活動団体へのヒアリングの概要

景観まちづくりの協働・連携のあり方や今後の展開の方向性などの参考にする目的で、ヒアリングを行い、団体の概要、活動内容、問題点・課題、今後の活動展開に関して意見交換を実施しました。

② ヒアリング対象団体…まちづくり、観光、文化などに関連する市内の団体

分野	団体名	活動概要
まちづくり	特定非営利活動法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク	市内に残る足袋蔵を店舗やミュージアム、体験施設として活用するなど、まちの文化を再認識してもらうまちづくり活動を行っています。
	特定非営利活動法人 街づくり会社・白壁	住まいやまちづくりに関する活動や、福祉施設への慰問などの活動を通して、地域に関わっています。
	特定非営利活動法人 忠次郎蔵	国の登録有形文化財である忠次郎蔵の維持と保全を行い、蕎麦を通じて市民や来訪者とのコミュニケーションを図り、まちを活性化しています。
	行田市商店会連合会	中心市街地の商店街のとりまとめを行い、商店街を中心としたまちづくりを推進しています。
学術・文化 ・芸術	行田郷土史研究会 2012	郷土史や歴史文化に関わる調査、研究、発表及び情報交換を行い、郷土の歴史や文化を継承しています。
	よろいを着ようボランティア	行田市郷土博物館において、児童用・成人用の鎧（模造）の着用を補助し、本市の歴史を来館者に体験してもらう活動を行っています。
	忍の行田の昔ばなし語り部の会	行田市の昔ばなしを掘り起こし、広く市民に継承するとともに、周知活動をしています。
	Seed（シード）	舞台芸術作品の創作を通じて、地域の人々と交流し、新しい文化の創造を目指しています。
その他	行田観光ボランティア会	来訪者へ観光資源のガイドを行い、本市の魅力を伝えています。
	フライ・ゼリーフライ友の会	本市のご当地グルメであるふらいとゼリーフライの周知のために、イベントなどへの出店を行っています。

③ 団体ヒアリング実施期間

平成25年10月1日（火）、3日（木）、4日（金）



－まとめ－

- ・「ぎょうだ足袋蔵ネットワーク」や「忠次郎蔵」など、行田市駅周辺の歴史的建築物を活用したまちづくり活動が活発に行われています。
- ・「行田郷土史研究会」や「忍の行田の昔ばなし語り部の会」は、研究活動や発表活動を通じて、行田市の歴史や文化を継承しています。
- ・「行田観光ボランティア会」による観光案内や、「よろいを着ようボランティア」による博物館来館者への鎧の着用補助など、観光客をもてなす活動が行われています。
- ・「フライ・ゼリーフライ友の会」によるB級グルメのイベントや、「忠次郎蔵」によるそば打ち体験教室を通じて、行田市の食をPRしています。

3. 市民意向に関する特性

(1) 行田市の景観まちづくりに関する市民アンケート調査の概要

① 調査の目的

景観まちづくりを推進するにあたり、地域資源や取組みの重要度に関する市民の意向を把握するとともに、秩父鉄道行田市駅周辺の足袋蔵などが集積するエリアのイメージや取組みの重要度を把握し、今後の具体的な取組みの方向性の参考にする目的で実施しました。

② 調査の対象

18歳以上の市民1,000人を対象に実施しました。なお、各地域ごとの対象者の数は、各地域の人口の割合を基に配分しました。地域区分の考え方については、9ページに掲載しています。

地域別（対象者数）	中心部（400）、西部（200）、北部（200）、南東部（200）
年齢別	無作為に抽出
性別	無作為に抽出

③ 調査実施期間

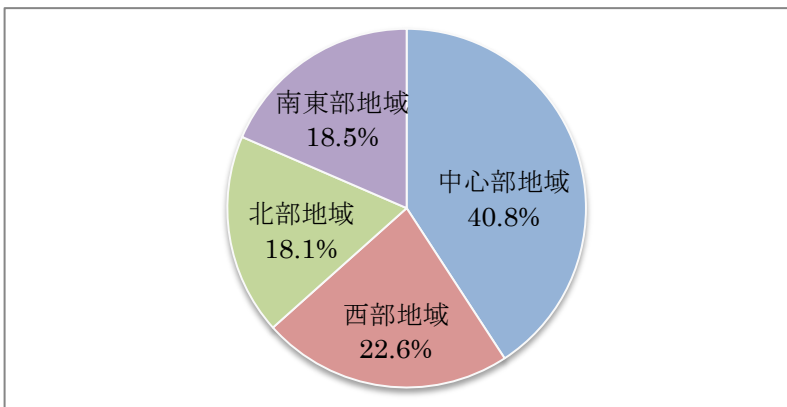
平成25年9月1日（日）～17日（火）

④ 配布・回収状況

配布・回収状況は以下のとおりです。

配布数		回収数	回収率（%）	回答の地域別比率（%）
中心部地域	400	137	34.3	40.8
西部地域	200	76	38.0	22.6
北部地域	200	61	30.5	18.1
南東部地域	200	62	31.0	18.5
合計	1,000	336	33.6	100.0

■回答の地域別比率

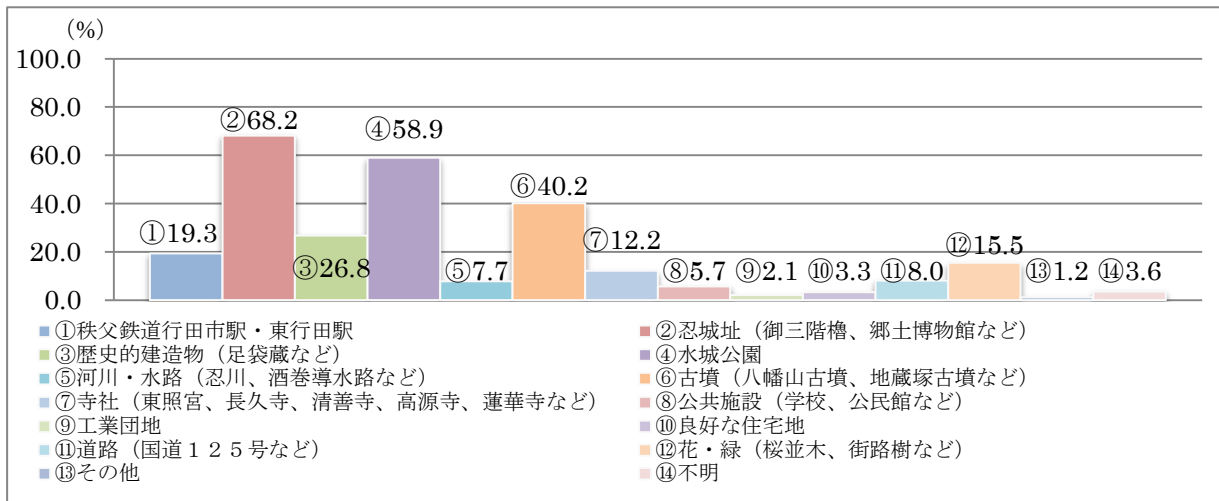


（２）各地域における重要な景観まちづくりの資源

① 中心部地域における重要な景観まちづくりの資源

中心部地域では、「忍城址」が68.2%と最も高く、次いで「水城公園」が58.9%、「古墳」が40.2%、「歴史的建造物」が26.8%となっており、歴史的な資源及び緑や水が重要な資源である傾向がうかがえます。

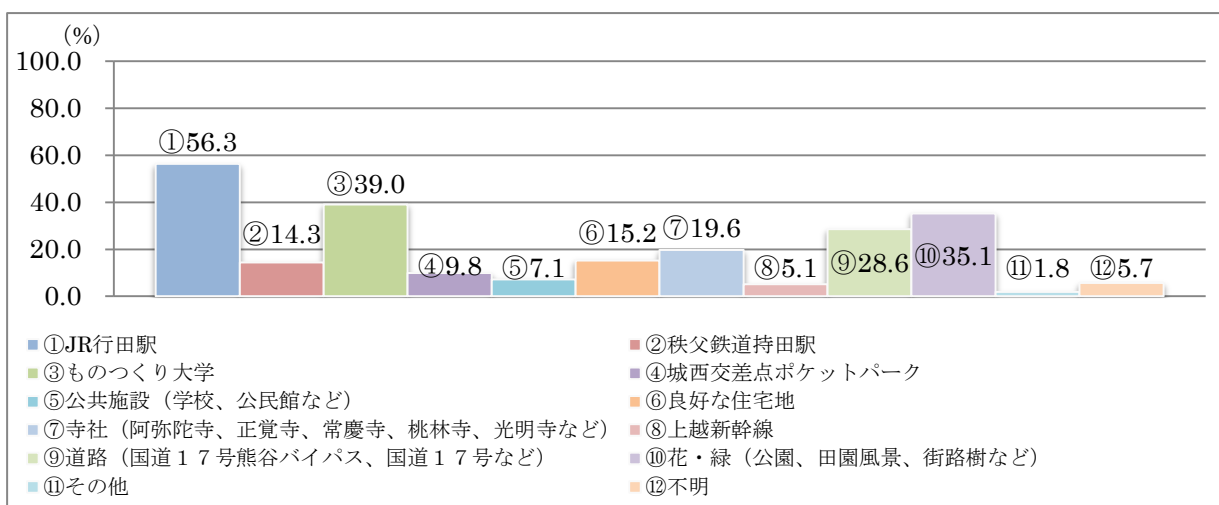
■中心部地域における重要な景観まちづくりの資源



② 西部地域における重要な景観まちづくりの資源

西部地域では、「JR行田駅」が56.3%と最も高く、次いで「ものづくり大学」が39.0%、「花・緑」が35.1%、「道路」が28.6%となっており、交通拠点や教育施設、豊かな緑が重要な資源である傾向がうかがえます。

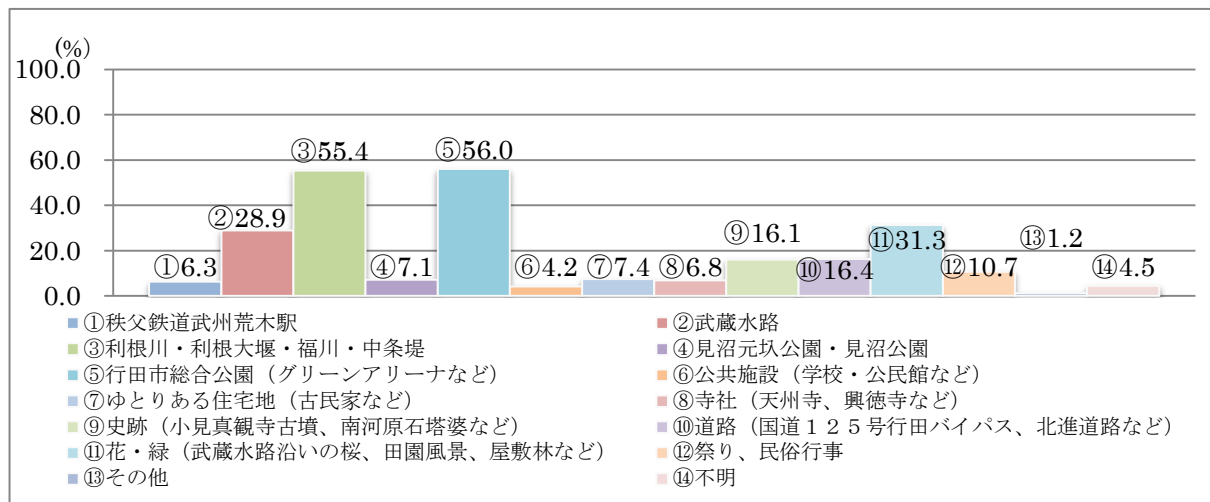
■西部地域における重要な景観まちづくりの資源



③ 北部地域における重要な景観まちづくりの資源

北部地域では、「行田市総合公園」が56.0%、「利根川・利根大堰・福川・中条堤」が55.4%と高く、「花・緑」が31.3%、「武蔵水路」が16.1%となっており、河川や水路など自然資源が重要な資源である傾向がうかがえます。

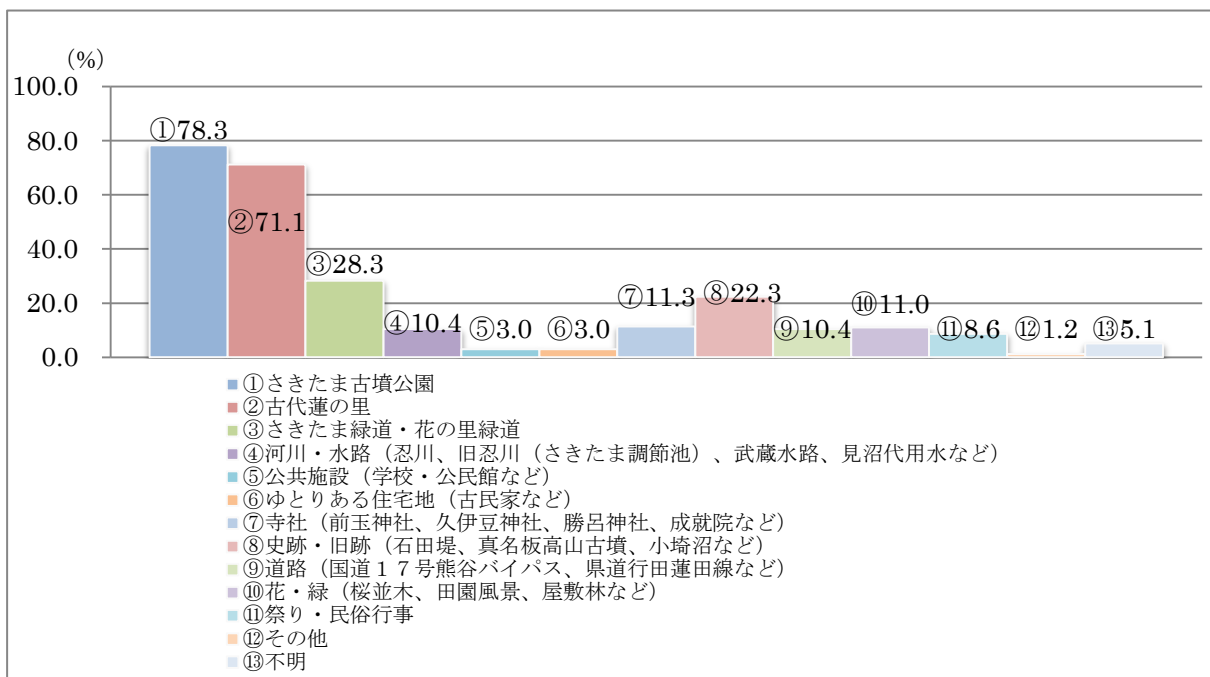
■北部地域における重要な景観まちづくりの資源



④ 南東部地域における重要な景観まちづくりの資源

南東部地域では、「さきたま古墳公園」が78.3%、「古代蓮の里」が71.1%と突出して高く、他には「さきたま緑道・花の里緑道」が28.3%、「史跡・旧跡」が22.3%となっており、古墳や史跡・旧跡などが重要な資源である傾向がうかがえます。

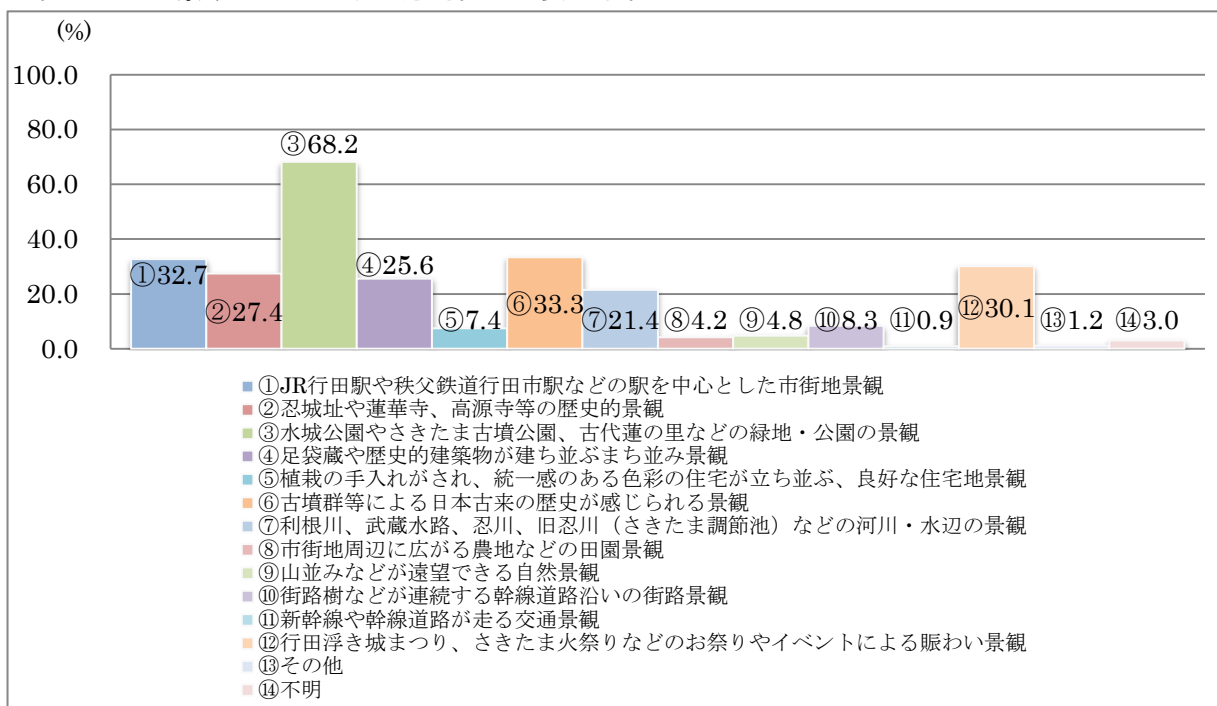
■南東部地域における重要な景観まちづくりの資源



(3) 行田らしい景観まちづくりの方向性

今後、景観まちづくりを進めるにあたり、目指すべき方向性について尋ねた設問では、「水城公園やさきたま古墳公園、古代蓮の里などの緑地・公園の景観」が68.2%と突出して高く、「古墳群等による日本古来の歴史が感じられる景観」が33.3%、「JR 行田駅や秩父鉄道行田市駅などの駅を中心とした市街地景観」が32.7%、「行田浮き城まつり、さきたま火祭りなどのお祭りやイベントによる賑わい景観」が30.1%、「忍城址や蓮華寺、高源寺等の歴史的景観」が27.4%、「足袋蔵や歴史的建築物が建ち並ぶまち並み景観」が25.6%となっており、歴史・文化的資源や自然資源、公共交通資源を活かしたまちづくりの方向性を示唆する結果となっています。

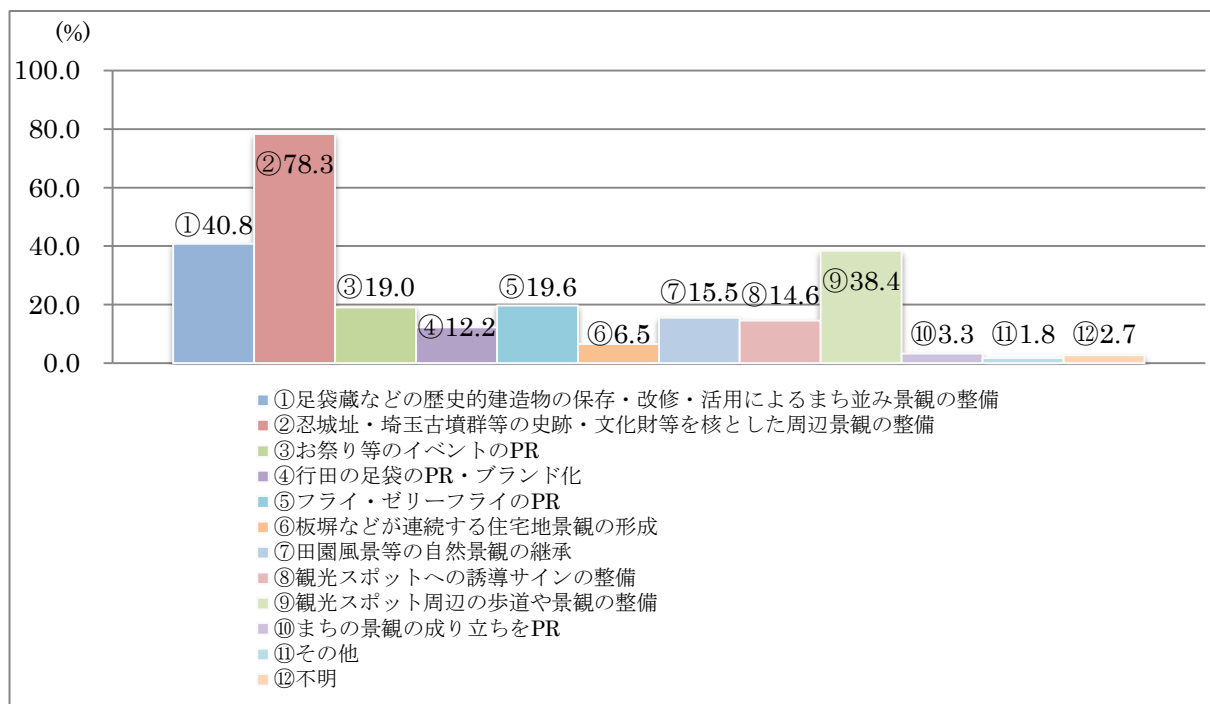
■行田らしい景観まちづくりの方向性で重要な取組み



(4)「歴史・文化」をテーマとした景観まちづくりの方向性

「歴史・文化」をテーマとした景観まちづくりを進めるにあたり、目指すべき方向性について尋ねた設問では、「忍城址・埼玉古墳群等の史跡・文化財等を核とした周辺景観の整備」が78.3%と突出して高く、次いで「足袋蔵などの歴史的建造物の保存・改修・活用によるまち並み景観の整備」が40.8%、「観光スポット周辺の歩道や景観の整備」が38.4%となっており、歴史・文化をテーマとする上では、歴史的建造物の保存・活用などに加えて、歴史・文化的資源周辺の整備など、市民及び来訪者が快適に行動できる整備を進めていくことが望ましい傾向がうかがえます。

■「歴史・文化」に関する景観まちづくりの方向性で重要な取組み



4. まち並みとにぎわいづくりの課題

(1) 地域資源の活用に関する課題

埼玉古墳群や忍城址、石田堤などの歴史的な景観資源のつながり

市内には、古代における埼玉古墳群から中世における忍城址や石田堤など、あらゆる時代の景観資源があります。また、市民意向においても水城公園やさきたま古墳公園、古代蓮の里などの景観形成が求められており、これらの資源を活用したつながりのある景観まちづくりを推進する必要があります。

点在する歴史・文化資源の活用と連携

市内には、忍城址や寺社などの中世における地域資源とともに、足袋蔵などの歴史・文化資源が点在しています。また、市民意向においても、「歴史・文化」をテーマとした景観まちづくりとして、足袋蔵などの歴史的建造物の保存・活用による景観の整備が挙げられており、これらの資源を活用、連携させたまちづくりが求められます。

良好な住宅地形成に向けた取組みの実施

JR 行田駅周辺の西部地域においては、新興住宅地が形成されています。また、市民意向においては、西部地域における重要な景観資源として、公園や街路樹などの花と緑が挙げられており、周辺環境との調和に配慮した、良好な住宅地の形成が求められます。

河川・水路や田園、屋敷林による農村景観の継承

郊外には広々とした田園や農村集落が形成されており、市民意向においては北部地域の重要な景観資源として、行田市総合公園や利根川、利根大堰などの自然・緑地資源が挙げられています。また、農村集落における住宅においては、屋敷林などの特徴的な景観を有しており、これらの地域特有の文化から生まれる景観を継承していく必要があります。

空き家・空き地の活用や新たな拠点づくりによるにぎわいの創出

近年、中心市街地では空き店舗や空き地が増加しています。今後、本市は人口減少が予想されることから、空き家・空き地によるにぎわいの低下が地域の問題となると考えられます。したがって、遊休施設※の有効活用や新たな拠点づくりにより、にぎわいの創出が求められます。

（２）まち並みづくりに関する課題

点在する歴史・文化資源や自然資源と調和したまち並み形成

市内には、忍城址や埼玉古墳群などの核となる地域資源が点在しています。また、あらゆる時代の資源とともに、周辺には住宅地や商店街、古くからのまち並みなどが形成されています。これらの歴史・文化資源と周辺の環境が調和したまち並み形成が求められます。

市民と行政が将来の理想的なまち並みを共有した一体的な空間づくり

まち並みは、住宅などの建築物と道路などの公共空間が一体となって形成されるものであることから、市民と行政が将来のまちの在り方を共有し、建築物と公共空間が調和した一体的なまち並みづくりに取り組むことが求められます。

市民の主体的な景観まちづくり活動やまち並みづくり

地域の特徴的な資源を活かした景観形成だけでなく、市民の日常生活の場となる住宅地や集落における住みよい環境づくりが必要です。したがって、地域特有の景観資源や地域における将来のまちづくりの方向性を市民と行政が共有し、市民が地域に愛着をもって、景観形成に関するまちづくりに主体的に取り組む必要があります。

（３）にぎわいづくりに関する課題

古代蓮の里や水城公園など、水や緑の自然環境を骨格とした地域資源のネットワークの確保

古代蓮の里や水城公園など本市を代表する自然資源は、資源同士のつながりが弱いため、忍川や緑道などの水と緑のネットワークを有効活用し、自然資源の連携と自然景観の連続性を確保する必要があります。

地域資源をつなぎ、回遊性のあるまちづくりとにぎわい創出に向けた空間の整備

市内に点在する地域資源間のネットワークの強化や、地域資源周辺のまちなかの回遊性の向上により、駅や商店街、公共施設などとの地域資源を有機的につなぎ、にぎわいの創出につなげる必要があります。

活発な市民活動を効果的に活かすネットワークづくり

本市では、歴史・文化の継承や観光ボランティア*などの市民活動が活発に行われていますが、活動団体間の連携が弱く、にぎわいの創出に向けた効果的なネットワークの形成が求められます。